

- 問1 石川県金沢市において、江戸時代から続く伝統的工芸品である加賀友禅の生産が、現在も受け継がれている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 北陸新幹線の開通に伴い、観光客向けのお土産として近年になって新たに開発されたため | 2. 明治時代に官営模範工場が設置され、西洋の技術を取り入れた機械化が急速に進んだため | 3. 加賀藩の歴代藩主が文化振興を奨励し、優れた職人を招いて技術を保護・育成したため | 4. 日本海側の湿潤な気候を利用して、原料となる綿花の栽培が江戸時代から盛んに行われていたため |
|---|---|--|---|
- 問2 日本のある果物の生産量上位県を見ると、1位が山梨県、次いで長野県、山形県、岡山県、福岡県となっています。この果物の栽培に適した地理的条件についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 年間を通して温暖で雨が多く、平坦な沖積平野が広がる地域に適している。 | 2. 冬の降雪量が多く、年間を通じて湿潤で日照時間が短い地域に適している。 | 3. 水はけが良い扇状地や、年間の降水量が少なく日照時間が長い内陸の気候が適している。 | 4. 夏でも涼しく、保水力の高い粘土質の土壌が広がる湿地帯に適している。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問3 富山県の砺波平野に見られる散村では、かつての地形図と現在のものを比較すると、家々の間を縫うように走っていた細く曲がりくねった道路が、格子状の直線的な道路へと変化している様子が確認できます。このような景観の変化をもたらした主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。 | 2. 急速な宅地化が進んだことで、かつての農道が廃止され、住宅地を優先した都市計画道路が新設されたため。 | 3. 鉄道網の廃止に伴い、線路跡地を生活道路として再利用したことで、広い直線道路が確保されたため。 | 4. 減反政策の影響で水田が大幅に減少し、余った土地をバイパス道路などの公共用地に転用したため。 |
|--|--|---|--|
- 問4 北陸地方の工業について述べた次の文の空欄にあてはまるものとして、最も適切な語句を答えてください。「中部地方の日本海側に位置する福井県では、県北部の嶺北地方を中心に地場産業が発達している。特に鯖江市周辺では、明治時代に農閑期の副業として始まった（ ）の製造が、現在では国内シェアの約9割を占めるまでに成長している。」 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------|--------|----------|
| 1. 眼鏡のフレーム | 2. 陶磁器 | 3. 西陣織 | 4. パルプ・紙 |
|------------|--------|--------|----------|
- 問5 長野県の諏訪盆地において、戦後に製糸業から精密機械工業へと産業構造が大きく転換した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 第二次世界大戦中に大都市から工場が疎開してきたことを契機に、高度な加工技術が地域に根付いた。 | 2. 内陸工業地域としての特性を活かし、輸入した鉄鉱石や石炭を原料とする重化学工業の拠点として再開発された。 | 3. 豊かな森林資源を背景に、江戸時代から続く伝統的な家具製造が機械化され、輸出産業へと成長した。 | 4. 高度経済成長期に太平洋ベルトに位置する利点を活かして、大規模な石油化学コンビナートが建設された。 |
|---|--|---|---|
- 問6 北陸地方の石川県、能登半島北部に位置する輪島市では、木の器に漆（うるし）を塗り重ねて作る伝統的な工芸品が生産されています。経済産業大臣によって「伝統的工芸品」に指定されている、この漆器の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 南部鉄器 | 2. 仙台筆筒 | 3. 天童将棋駒 | 4. 輪島塗 |
|---------|---------|----------|--------|
- 問7 中部地方には標高3000メートルを超える山々が連なる「日本アルプス」がありますが、このような険しく高い山脈が日本列島に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 数億年以上前に形成された非常に古い山脈が、長年の風雨による浸食を受けて今の形になったため | 2. かつて巨大な氷河に覆われていた地域において、堆積した土砂が長い年月をかけて丘陵地帯を作ったため | 3. 大陸の内部に位置しており、地震や火山の活動がほとんどない安定した地殻の上に成り立っているため | 4. プレートの境界付近に位置し、現在も地殻変動による盛り上がりが発見されているため |
|---|--|---|--|
- 問8 中部地方における農業の統計において、農業産出額に占める「米」の割合が58.7%と極めて高く、広大な平野を活用した稲作が産業の大きな柱となっている県はどこですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 新潟県 | 3. 岐阜県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という険しい山々が並ぶ地域や、その南側の富士山に近い地域で見られる気候の特色について、正しい説明はどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 黒潮の影響を強く受けるため、一年を通じて温暖で降水量が多い太平洋側の気候となる。 | 2. 季節風が山脈を越えてくるため、冬には日本海側特有の平野部よりも多い降雪が一年中続く。 | 3. 標高が高いため、一年を通じて湿った空気が流れ込み続け、国内で最も降水量が多い地域となる。 | 4. 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。 |
|---|---|---|---|
- 問10 日本列島の中央部に位置する新潟県は、東北地方、関東地方、中部地方の各県と広く境界を接しています。新潟県が陸上で直接境界を接している隣接県の数はいくつですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 7つ | 2. 5つ | 3. 6つ | 4. 4つ |
|-------|-------|-------|-------|
- 問11 中部地方の地図上において、北側に位置する飛騨山脈、中央に位置する木曽山脈、そして南東側に位置する赤石山脈の3つを総称した呼び名として適切なものを選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 四国山地 | 2. 中国山地 | 3. 奥羽山脈 | 4. 日本アルプス |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問12 中部地方の地理に関する学習において、岐阜県の内陸山間部にある集落について調べたところ、1995年にユネスコの世界文化遺産に登録されており、現在も伝統的な生活文化が守られていることがわかりました。この集落の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 馬籠宿 | 2. 五箇山 | 3. 白川郷 | 4. 飛騨高山 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問13 三重県の統計において、工業生産額が10兆円を超える高い水準となっている主な理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 広大な平野を活用した大規模な稲作と、それに関連する食品加工業が産業の大部分を占めているから。 | 2. 県北部の四日市市などが中京工業地帯の一角を担い、石油化学コンビナートや自動車関連の工場が集積しているから。 | 3. 県全域が京浜工業地帯に含まれており、東京市場向けの電気機器や出版・印刷業が極めて盛んであるから。 | 4. 内陸部に位置する地理的特性を活かし、高速道路のインターチェンジ付近に精密機械やIC（統合回路）の工場が集中しているから。 |
|---|--|---|---|